

吉の浦マルチガスタービン発電所における水素混焼試験への県産水素の供給について ～沖縄県内で水電解により製造した水素を活用した技術的確認の実施～

株式会社りゅうせき（以下、当社）は、沖縄電力株式会社（以下、沖縄電力）が吉の浦マルチガスタービン発電所で実施した水素混焼試験に使用する水素として、当社が沖縄県内で水電解により製造した県産水素を供給しましたので、お知らせいたします。

当社は、エネルギーの多様化を支え、S+3E※1 の観点を踏まえたエネルギー供給を目指すとともに、沖縄県内における次世代エネルギーの一つである「水素」の安定供給に向け、脱炭素社会の実現に資する取組を推進してまいりました。

水素分野においては、令和 5 年度から令和 7 年度にかけて、内閣府沖縄総合事務局の「沖縄型クリーンエネルギー導入促進実証事業費補助金」を活用し、水素ステーションの運用等に係る実証に取り組んでまいりました。

また、当社はこれらの取組を進める中で、水素ステーションを通じたモビリティ用途にとどまらず、産業向け、発電向けの利用について、さまざまな企業との意見交換を重ね、導入の可能性を検討してまいりました。

その中で、令和 8 年度においても、水素ステーション運用実証を継続しつつ、その他分野への展開を図るため、沖縄県が実施する「令和 8 年度沖縄県産業振興基金事業補助金」の採択を受け、水素エネルギーの普及に向けた取組を進めています。

このたび、令和 3 年 7 月に当社と沖縄電力が締結した「沖縄電力株式会社と株式会社りゅうせきとの脱炭素社会の実現に向けた連携協定書」に基づき、吉の浦マルチガスタービン発電所において、当社が製造・供給した県産水素を用いた水素混焼発電の技術的確認が実施され、発電設備の運用に支障がないことが確認されました。

本取組は、沖縄県内で製造した水素を県内の発電設備で活用するものであり、県内における水素利活用の可能性を広げるものです。今後、発電分野における水素利用の知見をさらに蓄積するとともに、地域における水素の供給・利活用モデルの構築に向けた検討を進めてまいります。

当社は今後も、お客さまのニーズに応じた水素の安定供給と利活用拡大に取り組み、S+3E の観点を踏まえたエネルギー供給を通じて、沖縄県の脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

※1：S+3E：安全性（Safety）を大前提に、安定供給（Energy Security）・経済効率性（Economic Efficiency）・環境適合（Environment）の 3 つの E を同時に追求する原則）

【別紙】本取組の概要について

以 上

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社りゅうせき 次世代エネルギー担当 TEL：098-875-5000 MAIL：takuya_nago@ryuseki.co.jp

本取組の概要

イメージ図

